

# 新しい薬学をめざして

Vol.51 No.2  
2022.2.1

発行 新薬学者集団

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8

E-mail sigma-info@faruma.co.jp

一般社団法人大阪ファルマプラン・あおぞら薬局 気付 郵便振替口座 01090-8-16463

TEL 06-6477-8080 (担当 稲垣) FAX 06-6477-8082 URL <http://pha.jp/shin-yakugaku/>

## 書籍解説 (その3)



### 『子宮頸がんワクチン問題 社会・法・科学』

原題「The HPV Vaccine On Trial」の日本語版 監訳者 別府宏園

みすず書房 2021年8月16日発行

里見佳子

## 第2部 市場で大ヒットしたHPVワクチン

### 第13章 無から生み出された市場

この章では、HPVワクチンの売り上げが莫大なものであり、メルクがいかに強引な手法で販売したのかを述べています。

メルクがHPVワクチン販売に汲々としていた背景として、バイオックス (NSAID, ロフェコキシブ, 日本では販売されず) の大損害を穴埋めすることがありました。FDAは1995年にバイオックスを認可しましたが、メルクは2004年に安全上の理由から自主的に撤退しました。FDAによると5年間に10万人前後の心臓発作と4万人前後の死亡を引き起こした可能性があり、北欧コクランセンターによれば死者は12万人に上るとされています。安全性に懸念が生じてからもメルクは販売を継続したばかりか、逆に安全性を表明し、さらに30以上の疾患に対する効果を謳いました。撤退した2005年以降、メルクは損害賠償金や和解金を支払いました。その額は、原告にとっては不十分な額であり、メルクにとっては1年分の収益にも満たないものでした。2012年メルクは罰金と和解金を支払い、バイオックスに関する捜査は終了しました。

## 目次

□書籍解説 (その3) 『子宮頸がんワクチン問題 社会・法・科学』 原題「The HPV Vaccine On Trial」の日本語版 里見佳子 …… 29	□第16回女性研究者・技術者全国シンポジウム (オンライン) 報告 寺岡敦子 …… 48
□ミニゼミ報告 OTC薬販売の現状を考える 小嶋慎二 …… 38	□玉枝の平和だよりから (7) 西淀川平和委員会第9回総会 12月17日 (金) 西淀川区民ホールで開催 中村玉枝 …… 51
□福島のいま (その78) ALPS処理途上水を海洋投棄できるか 反対運動の高まり 佐藤政男 …… 44	□手のひらエッセイ (ミニゼミ報告) ミツバチが来ない 三原啓子 …… 53
	□新薬学者集団第7回運営委員会報告 …… 54